

活動記録書

開催日： 令和8年6月12日（金） 天候 晴	開催テーマ： 地底の密教伽藍、田谷の洞窟を訪ねる
開催場所： 横浜市戸塚区、栄区	記入者： 熊谷 滋子
参加人数： 会員 21名 準会員1名 計22名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 等）</p> <p>コース： JR大船駅集合～JR大船駅西口バス停～神社前バス停(挨拶)～小雀五霊社～燈明寺（昇堂）～小雀公園～田谷御霊社～定泉寺（昇堂）田谷洞窟（拝観）～洞窟前バス停～JR 大船駅(解散)</p> <p>今回は横浜市編入以前は鎌倉郡であった小雀町、田谷町を探訪した。</p> <p>最初に訪れた戸塚区にある田谷五霊社は 1390～1393 年に当地の金龍山燈明寺を創建した圓仲省鏡が「一村の五穀豊穰と氏子息災延命」を祈願して創建したと伝わる。</p> <p>少し歩いて金龍山燈明寺。臨済宗円覚寺派で本尊は阿弥陀如来、両脇侍の観音菩薩立像、勢至菩薩立像と共に運慶作と伝わる鎌倉仏を昇堂して拝観した。山門には江戸時代の書家佐々木文山の書いた扁額「龍山」がある。「金」が抜けている理由は不明とのこと。境内には中村汀女の句碑や本堂前の観音堂には石造りの出世観音がある。外から見た瓦の間隔の狭い築地塀は珍しいようだ。</p> <p>続いて向かった小雀公園は、里山を活用して作られ湧水が流れる。小川に沿ってヨシ原やため池があり紫陽花や半夏生など初夏の花がいろいろ咲いていた。木道も有りとても歩きやすい。</p> <p>公園を抜けて訪れた田谷御霊社は旧田谷村の鎮守で鎌倉時代に創建。桓武天皇の玄孫平良文が東国平定の為京都御霊社を勧進し、相模国村岡郷に居を構え御霊社を村岡宮前に祀ったが、後に北条時頼の命により鎌倉権五郎景政を合祀して祭神とした。神仏習合の名残りの両部鳥居が珍しい。</p> <p>最後に訪れたのは田谷山定泉寺。1532 年創建、真言宗大覚寺派、本尊は厄除け身代わり阿弥陀如来・不動明王・弘法大師。和田義盛の子・朝比奈三郎義秀の館跡と伝えられる。</p> <p>境内に真言密教の修行窟であった地底伽藍「田谷の洞窟」がある。定泉寺では洞窟のある山を大日如来、窟内をその胎内とし洞窟内での修行は大日如来の胎内で体得することであると言われる。</p> <p>お寺で頂いた灯明を持ち洞窟内に入るとひんやりして、所々で身をかがめながら歩く。三段構造になっているようで、途中で道がいくつも枝分かれしていて全長は 1 km程と推定される。阿吽の獅子、曼荼羅、西国三十三観音霊場、四国八十八霊場等が彫られていた。今でも修行の場であり厳粛な宗教空間となっている。</p> <p>洞窟近くのバス停から JR 大船駅に戻り解散した。</p>	
<p>参加者の状況・意見など：</p> <p>良い天気恵まれ探訪先や移動の道すがら、初夏のいろいろな花を楽しみながら気持ちよく歩くことができた。</p>	
<p>次回の予定：</p> <p>令和8年7月2日（木）10時 六浦駅集合 テーマ 六浦の古刹上行寺住職のお話を聞く</p>	